

## お試し移住



期間：2020年12月～2021年2月18日

参加：3組7名 ※県内居住者のみ

延滞在日数：20日

今年度は平安座島で開催し、3組の方にご利用いただきました。県内在住者に限定していたため応募数は3組ですが、約1週間程度滞在し生活環境をゆっくり確かめていただきました。皆様のご協力ありがとうございました。

### 上記に関わるコロナ対策

- 消毒やマスク、ソーシャルディスタンスの徹底
- 開催中の検温や健康観察の実施など



## 宮城島コミュニティ防災センター4月オープン(予定)

宮城幼稚園と小学校跡地に建設していた「宮城島コミュニティ防災センター」が4月にオープンする予定です。この施設は、上原自治会、宮城自治会、宮城児童館などの拠点となる予定です。地域の老若男女問わず集まる、まさに地域コミュニティの中心となる施設であり、これからの宮城島にとって重要な場になる事が期待されています。



お問合せ  
連絡先



PROMOTION URUMA  
一般社団法人プロモーションうるま

TEL/098-923-5995

(担当：菊地、田中、西貝)

# しましま通信

2021年  
特別増刊号

3月号

spring

## 懐かしい未来があるイチチヌ島々

青空と桜の綺麗なコントラスト。

今年の桜は一斉に満開となり、島を彩ってくれました。





# うるま ワタクシプロジェクト

※「ワタクシ」は自分自身の起業プロジェクト、そしてウチナーグチで「へそくり」という2つの意味が込められています。



「うるまワタクシプロジェクトは」、島しょ地域で新しいナリワイづくりに挑戦したい人をとことん応援して、大なり小なりお金を生み出す一歩を踏み出すまでを一緒に創り上げる、伴走型支援の起業(しごとづくり)スクールです。第1期は島に住む7組の方が参加しています。

自分で手作りしている作品を、インターネットで販売したい!



まだ何ができるかは分からないけど、月3万円程度のお小遣い稼ぎになるビジネスを始めたい!



今やっている事業を拡大させて、新しい顧客をつかみたい!



古民家を改修して新しい事業を始めたいから、資金を調達したい!



## ポイント1

### 自分の「やってみたい」を形にする

欲しい未来は自分でつくる! 自分にも周りにも、地域にもうれしい仕事を生み出します  
 <例: ネット販売サイトを立ち上げたい、島の名物料理を出す宿を始めたい等>

## ポイント2

### 専門家の講座と相談で仕事づくりをサポート

講座や相談を通して専門家や事務局が伴走しながら、参加者の思いを形にしていきます

## ポイント3

### 仕事づくりは仲間から

参加者は競争相手ではなく仲間。仲間とアイデアを交えながら、ワイワイしごとをつくります

**Q** スクールの期間ってどれくらい?

**A** 2020年11月から2021年3月までの約4か月間に、全5回くらいの研修と伴走型の相談対応を行いました。

**Q** どんな人が参加しているの?

**A** 島しょ地域に在住の方や活動拠点等をお持ちの方です。多くの方が「とにかく自分で一歩を踏み出してみたい!」というアツい志を抱える個人やチームの方々でした。

**Q** 伴走型ってどういう意味?

**A** 受講生が挑戦する分野の専門家と運営事務局が専属の応援団となって、いつでも助言・相談できる体制を整えました。

**Q** プロジェクトの成果は見ることはできるの?

**A** はい、2021年2月末から3月にかけて、「プロジェクト発表会」を開催します。発表会では、参加者が4か月間練り上げた計画や試作品を実際に見ることができます。

## 7

### 映像で「自分らしさを発揮するきっかけを創り出す」プロジェクト

#### 内容

映像制作の「LIFESMILE合同会社」を立ち上げ中です。映像で被写体の個性・らしさ・笑顔表現することを大事にしています。キャッチコピーは「Create your Smile」です。

#### 活動をはじめるきっかけ

活動のきっかけは、人や組織、時間や場所に縛られない生き方を実現したかったからです。サラリーマン生活では心から日々の島の暮らしを楽しむことができず、40歳という節目に残りの人生を充実させたいという想いで、2021年からの独立を決意しました。映像制作の仕事はカメラ・PC・Wi-fiさえあれば、いつでもどこにいてもそのような働き方を実現する事ができ、且つ人に喜んでもらえるところが最大の魅力です。

#### 応援してもらいたいこと

ワタクシプロジェクト期間中は、島しょ地域で頑張るメンバーを応援するために角田さんや上地さん、春日さんのPVを制作しました。島に暮らす人たちは一見不自由ですが、助け合いながら本当の意味で豊かな生活をしています。島の一人としてそういったヒト・モノ・コトの物語をYouTubeを通して発信していきながら、本業として企業VPやプロモーションビデオ制作、YouTube動画編集などのお仕事を承けていきます。

チーム名: LIFESMILE合同会社 代表者: 塩谷 大輔

[YouTubeチャンネル「らいふすまいるチャンネル」] <https://www.youtube.com/channel/UCpFxR8R3QPVMS8cJLOuWlCg>



## なんでナリワイ(月3万円ビジネス)が必要な?

小さなナリワイは、好きなことや得意なことを活かして、小さなビジネスを生み出すための手法です。この「小さな」の目安は月3万円程度の利益を生み出すこと。ナリワイの秘訣は、「好きからスタート」「小さくスタート」「60点でスタート」すること。そうした取り組みが地域でたくさん起こることで、少しずつ地域の困りごとが解決したり、人間関係が育まれるなど、地域に小銭と笑顔が巡り、だんだんと地域が元気になるのです。



#### ナリワイのポイント

- 好きからスタート
- 小さくスタート
- 60点でスタート



#### ナリワイ起業の効果

- 自分から動く人が増える
- 動く人同士がつながる
- 地域に笑顔と小銭がめぐる

欲しい未来は、自分でつくる。仲間とつくる。



1

## 宮城島の古民家を食堂に 「みんなのリビング」プロジェクト

### 内容

宮城島の同級生を中心とした団体で、人が住んでいない古いお家を自分たちの手で改修しています。誰もが気軽に立ち寄り、食べたり飲んだりしながら、島くとうばやいろんな言葉がたくさん飛び交う食堂を作ります。

### 活動をはじめるきっかけ

生れ島が好きだからです。自分を育ててくれた宮城島に誇りを持っています。伝統、芸能、文化、自然など、ここにしかない自慢できるものがたくさんあります。自分たちの子や孫にもこの島のことを伝えていけるように、活きた交流の場所を作りたいと思いました。人が少なくなり誰も住まない家が多くなる中、今回家主のご厚意で大切なお家を貸していただいたので、自分たちで改修をし「食べることを通して島を楽しみたいと思います。

### 応援してもらいたいこと

限られた予算の中で、古いお家の改修をほぼ手作業で行っています。メンバーに加え、地域の方々や移住者にも協力いただき、週末を中心に作業し廃材やリサイクル品などを積極的に使っています。皆さんのところで使わなくなった木材や懐かしい生活道具などがあればぜひお声かけください。もちろん作業のお手伝いも大歓迎!! その場のノリで、三線ライブや、美味しいごはんが出てくることも。ユンタクしながら宮城島を楽しみましょう。

チーム名:SU-TE 代表者:新屋秋夫

[facebookページ] <https://www.facebook.com/akioseitokuyuko>



3

## もずく海人の島からの贈り物 「久保田家のもずくゼリー」プロジェクト

### 内容

家族で育てているもずくの商品化を目指して、商品タグのデザインづくりや食品営業許可取得に向けた勉強をしてきました。久保田家のもずくが、人と人を結びつける贈り物のような商品になったら嬉しいです。

### 活動をはじめるきっかけ

私の父はもずく漁師で、家族は毎日のようにもずくを食べています。特に私は「もずくゼリー」や「もずくケーキ」などを作るのが好きで、誰かに食べてもらった時に美味しいと言われるのがとてもやりがいを感じます。仕事も飲食関係に努めており、その経験も活かして事業を立ち上げて、より多くの方に浜比嘉島のもずくを知ってもらえるようにしていきたいです。いずれは島の雇用や地域活性につながるような事業に育てていきたいです。

### 応援してもらいたいこと

まだ食品営業許可は取れていないので、お店等での販売はできていません。2021年の内に食品営業許可がとれる加工場を立ち上げて、まず「もずくゼリー」の生産と販売をしていきます。その時には、ぜひ浜比嘉島に来て購入していただいたり、インターネット販売も始める予定なのでお買い求めいただければ嬉しいです。

チーム名:もずくワールド 代表者:久保田愛理



2

## 島んちゅの交流拠点に 「海畑食堂ていーあんだ」プロジェクト

### 内容

宮城島桃原地区の同志で、漁港前の物件を改修して食堂兼直売所を作っています。近くの漁場で獲れた新鮮な海産物や自然豊かな土地で育てられた野菜、果物を使った食事が食べられる島人が集まる拠点にしたいです。

### 活動をはじめるきっかけ

この地域に住んでいるといかに新鮮な海産物や野菜が溢れているかに気づかされます。当たり前の様に分け合う素晴らしい習慣もありますが、これらを地域外の方々にも提供することで、生産者の販路拡大に繋がってほしいと思ったからです。また、集まれる場所ができることで島人がゆんたくをしたり、宮城島と伊計島の玄関口にあたる桃原という場所だからこそ、島の案内所としても活用し地域の魅力も発信していきたいと思っています。

### 応援してもらいたいこと

地域の魅力を発信する場として、現在改修中の建物の外観に絵をペインティングできればと思っています。そのアイデアや絵が描ける方がいらっしゃればぜひご協力いただきたいです。また、直売所コーナーで野菜や、加工品、作家さんの作品などを卸してくださる方も募集しています。ゴールデンウィーク前のオープンを目指して準備を進めていますので、是非オープンしたら足を運んで頂けると嬉しいです。

海畑食堂 ていーあんだ 代表者:勝連正美、金武寿



4

## 芭蕉布のもったいない! 「ウバサガラー」の活用検討プロジェクト

### 内容

糸芭蕉からとれる「ウバサガラー」という繊維があります。芭蕉布を作る人からすると知らないけど、私から見たら「なんか使えそう」と思うウバサガラーを材料に、これからの活用策を考えていく取り組みです。

### 活動をはじめるきっかけ

照間の「芭蕉布こもれび工房」で芭蕉布作家の姉と一緒に活動しています。昔は沖縄中で愛されていた芭蕉布ですが今では希少価値のある高級品となっています。が、もっと気軽に手にしてもらえたいものを作りたいと思い、ウバサガラーでバックや草履を作ってみたところ、手間がかからずしっかりした作品ができました。そこでウバサガラーの可能性と一緒に考えてくれる仲間が欲しいと思い、このプロジェクトを開始しました。

### 応援してもらいたいこと

ネット通販で、ウバサガラーの量り売りを始めました。芭蕉布と同じ糸芭蕉からの副産物であり、照間で無農薬で育ち、島の海風で乾燥させたウバサガラーです。独特の風合いがあり、ウバサガラーを素材にオリジナリティある作品をつくることができます。また糸芭蕉は切って1時間後に芽が伸びるような生命力の強さが特徴なので、縁起がいい贈り物の包装にもぴったりです。ぜひ色々な活用方法のご提案よろしくお願いします。

チーム名:jyakujiyaku(じゃくじゃく) 代表者:春日清子  
<https://jyakujiyaku.base.shop/>





5

## 古民家カフェ「命薬のあの土」を拠点にした伊計島応援プロジェクト

### 内容

伊計島の古民家カフェを舞台に、地元食材を活用した新しいメニュー開発や商品開発、子どもたちが伸び伸びと遊べる空間づくりなど、「命薬」をテーマにした活動を通して、伊計島の地域づくりをお手伝いしていきます。

### 活動をはじめるきっかけ

大病したことを契機に、ココロ・からだ・自然が調和するあり方を発信しよう！と、長年那覇で玄米菜食のカフェを運営していました。ご縁があって伊計島と巡り合い、昔ながらの豊かさの残る空気感や想いをもって活動されている区長や区民の皆さんに触れたことで、「伊計島のお手伝いがしたい！」と思い、ご紹介頂いた古民家を改修して2021年1月にカフェをOPENすることができました。心豊かな沖縄のウイを育てていきます。

### 応援してもらいたいこと

まずはカフェにぜひお越しください！皆さんの率直な感想をこれからのメニュー開発に活かしていきたいです。また、「命薬のあの土」を拠点に、島の素材を活用した商品開発や未来を担う子どもたちの遊び場づくりなど、伊計島のお役に立てる活動を島の皆さんとご相談しながら少しずつ広げていきたいという想いから、クラウドファンディングにも挑戦する予定です。こちらも併せて応援していただけると嬉しいです。

一般社団法人LOHASヴィレッジプロジェクト 代表者：上地正子  
<https://www.lohas-village.or.jp/>



6

## タピオカサンドで「心と身体を整えるエネルギーチャージ」プロジェクト

### 内容

夫婦で営んでいるタピオカサンドのパーラーとブラジルテイストのお宿を舞台に、太陽や月など自然のリズムを意識しながら、グルテンフリー・腸内環境活性・高エネルギーを効能とする新しい感動体験を提供します。

### 活動をはじめるきっかけ

夫婦にとって原点とも言える地ブラジルで出逢ったタピオカサンドの味に惚れ込み、移り住んだ浜比嘉島で2019年11月にテイクアウトスタイルのパーラーをOPENさせました。隣接する民宿と併せて、ブラジルの異国感や島のゆったりとしたリズムを感じてもらいたいと考えていましたが、このワタクシプロジェクトを契機に、「エネルギーチャージ」という新しいコンセプトが誕生しつつあるところ。新しい食と場を生み出します。

### 応援してもらいたいこと

ワタクシプロジェクトから生まれた新メニュー第1弾、新鮮な旬野菜をたっぷり挟んだ「Sunny Energy Tapioca」をぜひ食べに来て、感想をお聞かせください！第2・第3の新メニューもまもなく登場予定です。また、2021年1月から宮城島の広大な畑をお借りすることができ、タピオカサンドの原料となるキャッサバ芋を自分たちで無農薬栽培し始めました。草刈り作業お手伝いも絶賛募集中です(笑)

ブラジリアン・タピオカリア76 代表者：角田拓也・陽子  
<https://brazilian-tapiocaria-76-brazilian-restaurant.business.site/>



第1回

## 参加者同士が思いでつながる



11月15日に第1回プロジェクトを開催。山形県鶴岡市で月3万円ビジネスを展開する「鶴岡ナリワイプロジェクト」の井東敬子さんをオンラインゲストにお招きし、自分の思いを丁寧に掘り起して仕事づくりにつなげる重要性や、一人ひとりが挑戦するために仲間とチーム化する大事さについてお話いただきました。

第2回

## あなたインタビュー

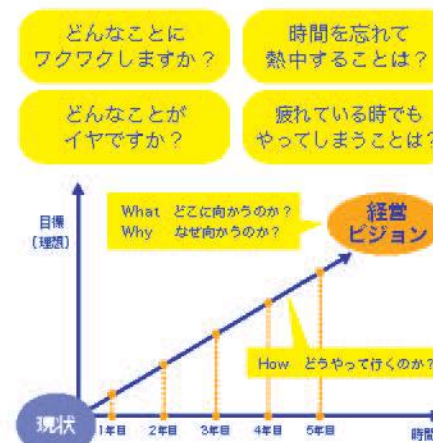


自分の「好きな事」はわかりやすいですが、なぜ好きなんだろう？という「思いの源泉」は自分ではわかりにくいもの。この「あなたインタビュー」では、聞き取り役の「コトバグラフィッカー」のちょこさんが参加者1人ずつと面談しながら、思いの源泉や大切にしている価値観などを聞き取り、絵として可視化していただきました。



第3回

## 事業構想&事業計画



12月13日は事業の根っこと幹を整理する時間でした。様々な企業や個人事業主の事業構想や戦略づくりを支援する但馬武さん(fascinate株式会社)と、沖縄県内で様々な地域の起業支援などに取り組む新田繁陸さん(CSDコンサルティング/うらま市出身)をお招きしました。但馬さんは、楽しさは人を巻き込むことができるという気付きから、自分がワクワクする生き方を仕事づくりに結び付ける事業構想について深める時間となりました。新田さんからは、新型コロナなど不確実な社会を生き延びるための起業について、一人一人が目指すべきゴールから逆算してどのように事業を営むのか計画を考える時間でした。

第4回

## 食品衛生&スモールビジネス



参加者7組中5組が飲食に関わるプロジェクトを予定しており、これから活動を進める上で重要な「食品衛生」の基礎知識を宮里学さん(フードデザインサポート)のお話から認識を深めました。秋元祥治さん(岡崎ビジネスサポートセンター長)からは、小さくビジネスを進める上で重要な「アイデア勝負で売り上げをアップする方法」を知り、自分たちが持っている資源や可能性を見つめ直し、地域や社会の時流に合わせてスピーディーかつ柔軟にビジネスを運用していく必要性を学びました。

カリキュラムと同時に  
 専門家が伴走して、  
 プロジェクトの  
 現実性を高めます



専門家との相談



オンラインで県外の  
 専門家と相談



フィールドワークで  
 伝わる現場感



参加者同士で  
 ノウハウの交換も

約4ヶ月のカリキュラムと専門家相談の結果、  
 島人から7つのプロジェクトが生まれます！